

「うちはいかないよ」というわけにはいきません。  
2011年7月24日までにアナログ放送は終了します。



撮影協力：株式会社一条工務店吉田展示場

## なぜ地デジに 変わるの

chapter 1

2001年（平成13年）の電波法改正により、アナログ放送による周波数の使用は10年以内に終了することになりました。

これによりアナログ放送は2011年7月24日までに終了することになりました。

**テレビの発展  
アナログからデジタル**

1953年にテレビ放送が開始され半世紀、その間にテレビはモノクロからカラーへ、アナログからデジタルへ飛躍的に進化を遂げてきました。放映が開始された当時のテレビはとても高価で大学の初任給の50倍以上のものであり、洗濯機と冷蔵庫と並び「家電三種の神器」といわれていました。もちろん普及率は低く、テレビを持っている家庭に近所の人が集まり、みんなで見たとはいわれています。

平成22年3月消費動向調査（内閣府経済社会総合研究所景気統計部）によると、テレビ保有台数は世帯に約2・5台。中には1人1台保有している場合もあるほど、テレビは現代生活に欠かすことのできないものになっています。

**デジタル化の目的**

電波は無限に使えるように思われがちですが、放送や通信に使えるのはある一定の電波（周波数）だけです。日本では携帯電話などのさまざまな機器が発達し、また無線系のインターネットなど

といった新しいサービスが実用化され、使用可能な電波の許容量は限界に達しています。今回番組データをアナログからデジタルに変更することで、高度な圧縮技術が活用でき電波を節約することができるようになります。

地上アナログ放送は、VHFとUHFで62チャンネルの電波が使われています。デジタル放送へ移行すれば必要な電波は40チャンネルまで圧縮できます。つまり、残った22チャンネルでテレビ以外の災害情報や交通情報、携帯電話などといった放送や通信に使うことができます。

「電波の有効利用」がデジタル化する大きな目的です。

今すぐ知りたい 今すぐ見たい

# 特集 地デジ

「地デジ」とは地上デジタルテレビジョン放送のことです。現在放送されている地上アナログテレビ放送は2011年7月24日に終了し、国内のすべてのテレビ放送はデジタル放送に切り替わります。完全地デジ化まであと1年。移行直前で慌てることがないように、地デジのことを知り、余裕を持って準備をしましょう。

### 地上デジタル放送化による「電波の有効利用」

上：現在 下：2011年（平成23年）7月24日～

